



須坂市立小山小学校だより

令和8年1月14日

橋の子だより

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

No.8

文責：教頭

須坂市立小山小学校

保護者の皆様、新年 2026 年がスタートしました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。3 学期がスタートした 1 月 8 日、ちょっと雪が舞っている寒い朝、いつもより少し早目に玄関を開けると、寒さに負けない元気いっぱいの子どもたちが笑顔で入ってきました。冬休みのできごとをたくさん語りたい低学年の子どもたちが私の周りにあふれました。「教頭先生、冬休みスキー行った！」——いいねえ。「教頭先生、この帽子買ってもらった！」——似合ってるねえ。「教頭先生、私いつもの服装と何が違うのでしょうか」——う〜ん、それは難問…。「校長先生、荷物が重たい…」——大丈夫？ちなみに、教頭先生ね。

今年も元気いっぱい、笑顔いっぱいの子どもたちの姿がたくさん見られるよう、職員一同精一杯努めさせていただきます。

3学期始業式 校長講話より

「一年の計は元旦にあり」

学校では、今日の始業式が、1年の始まりです。

- ①「こんな自分になりたい」ということを具体的な言葉で目標にする。
- ②立てた目標に近づくために何をするかを決める。
- ③何をするか決まったら、毎日継続して取り組む。

◇一週間の終わりや月の終わりには、目標に近づいているかどうかを振り返る。

◇うまくいかない場合は、なぜかを理由を考え、取り組み方を変えてみるなど工夫する。

◆日々の努力と思考の連続が自分を成長させる。

○1日10分の読書を46日継続すると、3学期の間に10分×46日＝460分。7時間40分。1年間では10分×365日＝3650分で、約61時間。

○1日30回、素振りの練習をすると、3学期の間で、30回×46日＝1380回。1年間では、30回×365日＝10950回。

「継続は力なり」

「努力は人を裏切らない」

今年はいま年です。午（うま）は、昔から 躍動・成功・勝負運 を象徴する干支とされています。馬から連想される「スピード」「行動力」「社交性」「勢いや力強さ」などの意味があります。まっすぐ前へ進む力強さから、事業が発展する年、努力が実を結ぶ年ともいわれます。また、馬は人の暮らしを支えてきた大切な存在で、家族を守り、幸せを運ぶ縁起の良い動物として親しまれてきました。

小山小学校全てのお友だちが新しい挑戦に光が差し、前へ進む力を感じられる一年になるよう願っています。

学校では、今日、始業式の日が、一年のはじまりです。今日は、一年間の自分の目標や3学期の目標をしっかりと立てましょう。上手くいれない時に、どうしたらいいか…と考えることがとても大切です。こういった日々の努力と思考の連続が自分を成長させます。

たった1日10分間でも、全く読書をしない人とする人では、こんなに読書量が違ってきます。“継続は力なり”という諺がありますが、数字で考えると続けることの大切さがよくわかります。“努力は人を裏切らない”という言葉もあります。目標に向かって努力し、自分が成長していくことを楽しめる小山小の子どもたちになってほしいと思います。

3学期(46日間) 新しい出発をする準備の学期

6年生→小山小学校を卒業 中学校に進学

2・4年生→進級とともにクラス替え

1・3・5年生→ひとつ上の学年に進級

5年生=学校のリーダーに

みなさんなら必ずできるはずです

新しい出発のために

◆4月からの「成長」をふりかえる
(大きくなったこと・がんばったこと・できるようになったこと)

◆お世話になった人やものに感謝

◆今まで以上に 今を大事にする
今を大切にできない人は、将来も大切にできません

すてきな 終業式・卒業式を 迎えよう

3学期は46日間。1, 2, 3学期の中で最も短い学期です。あっという間に終わってしまいます。来年度に向けた新しい出発をする準備の学期でもあります。

そんな新しい出発に向けて、4月からの自分自身の成長をふりかえることも大切です。できることがふえてきた自分をほめてあげましょう。これまでお世話になった人やものに感謝することも大切です。そして、今まで以上に「今」を大切に、元気に3学期も過ごしていきましょう。



「なかよし宣言」掲示

11月にメセナで行った「あらゆる差別をなくす市民大集会」の学校発表の折に、児童会役員、PTAの代表の皆さんで力強く発表してきた小山小の「なかよし宣言」をパネルにしました。そして、児童玄関を入ったストリートピアノ横の吹き抜けの壁に掲示(管理技術員の永井先生の技!)されました。この3つの宣言は、児童のみならず(児童会)の案をもとにして

作られた文言であることがとても価値があり、意味があることだと感じています。

きっと毎日楽しいことばかりではなく、友達とうまくいなくてモヤモヤする日もあるでしょう。相手の文句を言いたい日もあるでしょう。そんなときにも、このなかよし宣言に立ち返りながら、少しずつ成長していけたらいいですね。そして私たち職員も、子どもたちが相手を思いやりながら過ごしている日々の姿を大切に受け止めていきたいと思ひます。

【職員研修】STOP飲酒運転！

12月の職員会議の折に、全職員で飲酒運転を絶対にしないための研修を行いました。過去の事例から、なぜそれでも飲酒運転をしてしまう人がいるのかを振り返りました。これまでの事例で飲酒運転の理由の上位にあるのは以下の内容だそうです。

「飲酒量が少ないので大丈夫だと思った / 酔っていないと思った」

「飲酒からの時間がたっていた(二日酔い・残酒運転)」

「目的地が近かった / 代替手段がなかった」

そして、飲酒運転による人身事故で当該者が失うものは何かを話題にしました。教員の免許や身分を失うことはもちろん、一番大きなものとしてはやはり「児童保護者、地域、同僚からの信頼」。この研修で改めて強い覚悟と決意を心に刻み合いました。